



バレーボール少女像

体育館の前に、バレーボール少女の像が設置されています。なぜ、この像が建っているのでしょうか。

五條市は昔から、男の子は野球、女の子はバレーボールをするのが当たり前のようになっていました。少年野球では、五條市代表の2チームが県大会の決勝戦を行うほど強く、五條市で勝ち抜くことのほうが難しいと言われる時代が続いていました。そんな中、少女バレーボールも盛んになり、昭和56年、北宇智少女バレーボールクラブ（チーム名は定かではありません）が、県大会を制し、第1回全国少年少女バレーボール大会に出場することになりました。全国大会でも勝ち進んだ北宇智チームは惜しくも準決勝戦で敗れましたが、堂々の3位に入ったのです。この快挙を記念して、地域の人から、この像が贈られたのです。台座には「のびよ あかるく すこやかに」と刻まれ、子どもたちの心身共に健やかな成長を願う、地域の人々の願いが込められています。

